

## 学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年 6 教科・領域 音楽 単元・題材等 日本の音楽を味わおう

単元・題材等の目標 日本の楽器の響きや旋律の特徴を生かした音楽の美しさを味わうようにする。

○活用できる学校外の人材と内容等

箏や尺八、雅楽などの演奏家

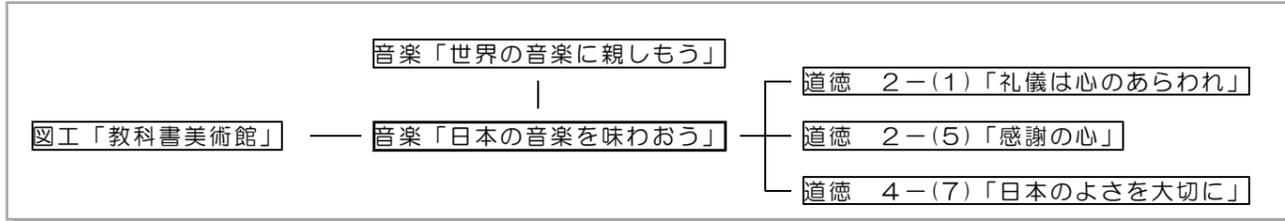
\*来校してもらい、日本の伝統的楽器や音楽の演奏を聴かせてもらい、箏などの演奏のしかたを指導してもらう。

○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度

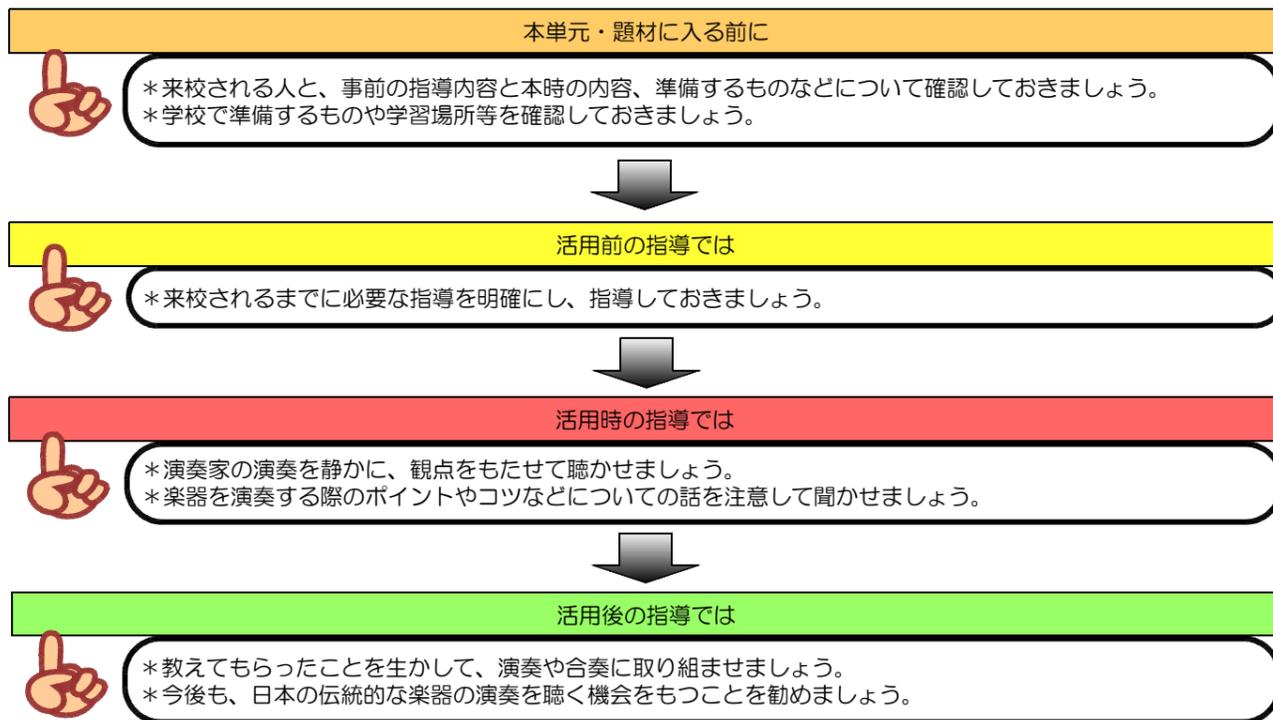
\*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

- ・**箏や尺八、雅楽など日本の音楽の様子やその変化が分かる。** 【情報収集・探索能力】
- ・演奏を聴いて、気付いたこと、分かったことを発表する。 【情報収集・探索能力】

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連



○学校外の人材を活用するポイント



○学校外の人材を活用する指導の流れ

### 活用前の指導

- ①日本の音楽や楽器に関心をもとう  
◆日本の伝統的な音楽や楽器について知り、興味や関心をもつ。

学習活動	指導上の配慮事項
●日本の伝統的な楽器について知る。	○教科書の写真や既知の知識などから、日本の伝統的な楽器について関心をもたせる。
●日本の音楽の曲の雰囲気をつかむ。	○教科書の楽譜やCDなどから、日本の音楽の曲の雰囲気や特色をつかませる。
●次時の予定について知る。	○次時に来校する人の概要や、学習内容について知らせる。

評価の観点 ・日本の音楽や楽器について、興味・関心をもつ。

### 活用時の指導

- ②日本の音楽や楽器の演奏を聴こう  
◆日本の音楽や楽器の音色、旋律の特徴を感じ取って聴く。  
③歌ったり合奏を工夫したりしよう  
◆楽曲の雰囲気を感じ取って、歌ったり合奏を工夫したりする。

学習活動	指導上の配慮事項
●はじめのあいさつをする。	○来校された人を紹介し、本時の学習内容を知らせる。
●箏や尺八の響きや雅楽の曲の雰囲気味わう。 【情報収集・探索能力】	○演奏を聴くマナーについて指導し、箏や尺八の演奏や雅楽の曲の演奏をしてもらい、聴かせる。 ○箏や尺八、雅楽の演奏を聴き、曲や音色の感想や気付いた点を挙げさせるとともに、演奏家としての話もしてもらおう。
●箏や尺八の演奏のしかたや雅楽の合奏のしかたを知る。 【情報収集・探索能力】	○箏や尺八の演奏のしかたや雅楽の合奏のしかたについて指導してもらう。 ○必要に応じて、個別指導を行う。
●感想を発表し、終わりのあいさつをする。	○感想を発表させ、お礼のあいさつをさせる。

評価の観点 ・専門家の演奏や話などから、日本の音楽の特徴が分かる。  
・箏や尺八、雅楽などの演奏ができる。

### 活用後の指導

- ③歌ったり合奏を工夫したりしよう  
◆楽曲の雰囲気を感じ取って、歌ったり合奏を工夫したりする。

学習活動	指導上の配慮事項
●前時に教えてもらったことを復習する。	○グループ等で演奏を聴き合い、感想を発表し合う。
●箏や尺八、雅楽の合奏を行う。	○他のグループの演奏を聴いて、どんな感想をもちましたか。
●発表を聴き合い、感想を発表し合う。	○今後も、日本の伝統的な楽器の演奏を聴く機会をもつようよう勧める。

評価の観点 ・楽曲の雰囲気を感じ取って、歌ったり合奏を工夫したりしている。